

# CSだより

## ✽育てよう！豊田愛✽

コミュニティースクール（CS）は「地域愛は単に豊田で生まれ育ったということではなく、地域の人とかかわり、育てられたと子供が実感することで生まれる。そして豊田を愛する子はやがては地域の担い手となる」と考えます。子供は地域の宝です。大人から進んで声をかけ、かかわることで子供のやる気・挑戦に火をつけてほしいと思います。CSは以下のような地域学校協働活動を3つの柱としてかかわります。皆様のご理解・ご協力を心より願っています。

### 1 地域から学校へ（地域人材の協力）

〈令和6年度から〉

- ・4年生社会科（消防団 自治会長が教材づくり支援）
- ・5年生家庭科（和裁クラブメンバーが指導）
- ・支援学級モルック ボッチャ授業（地区体育委員・スポーツ推進委員が指導）
- ・1年生コマ回し（住民10名程が指導）
- ・豊中生職業学習（7業種を住民講師が務める）
- ・豊中生総合学習（地域企業訪問をCS委員が支援）
- ・豊小体育授業（水泳プールへの移動をCS委員が支援）
- ・4年生社会見学（清掃工場までCS委員が引率）

### 2 学校から地域へ

- ・豊中生芋掘り体験（10自治会）
- ・自治会体育祭（プラカード誘導等）
- ・とよだのまつり（販売補助 ステージ発表司会等）
- ・9自治会防災訓練（自治会の尽力で小中学生20名消火訓練  
中学生防災サポーター3名誕生）
- ・豊小図工作品、地域交流センターに展示



### 3 豊田地区が抱える課題へ

#### ① 登下校の交通安全対応（志太地区最大の児童数）

交通量が多く、特に豊小「学校橋」付近は地獄ラッシュと呼ばれることもある。各所で見守り隊や自治会・PTA・地域ボランティアの献身的な御尽力もあって大きな事故は避けられている。昨年、3者（自治会・学校・CS）で警察へ要望書を提出した。その結果、朝7時～8時、豊田幼稚園前の道路では、右左折を規制する交通規制が実施される予定です。

#### ② 一人登校の解消（極めて低い子供会組織率）

地下道を1年生が一人登校する姿があり、危険である。大切な子供の命を守るのは大人である。各地区で自治会や子供会を中心に学校と連携した対応策（登校班づくり等）がとられ始めている。具体例は次号でお知らせします。

## ❖高まった安全意识（豊田小6年生）❖

焼津警察担当者の方から交通リーダーの役割について講話があり、その後6年生は各グループに分かれて安全について話し合いました。代表児童から「登下校の時には下級生に積極的に声を掛けたり指導したりしていきます」「安全な場所はないので自分の身は自分で守ります」「自転車に乗るときはヘルメットを被り、友達にも被るよう言えるようになりたい」など安全意识が高まったと思われる発表がありました。



## ❖玉結び・玉止めに苦戦❖

5年生から始まる家庭科の授業。和裁クラブの方々にアドバイスをいただきながら玉結び・玉止めにチャレンジしました。針に糸を通すことに苦戦しながらも休み時間を忘れるほど集中して何回も練習を重ねていました。



## ❖ポッチャっておもしろい！❖

豊田小7・8組の児童でポッチャに挑戦しました。昨年度のモルックに引き続き豊田地区体育委員及びスポーツ推進委員の方々にご指導をいただきました。児童たちの感想は「楽しかった」「点数が入ると面白い」などの声があがりました。同じチームの中で上級生が下級生に声をかけるなど成長も見られました。

